

令和5年度 授業改善推進プラン（小学校学級担任用）

福生第三小学校 第1学年2組 担任 ○○ ○○

1 福生市学力・学習状況調査の結果				
	分類	意識調査の質問項目	組	全国
学びに向かう力	感情のコントロール	8 家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う	○. ○%	○. ○%
		53 自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある	○. ○%	○. ○%
		54 自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う	○. ○%	○. ○%
	目標の達成	18 ふだんから「不思議だな」、「なぜだろう」と感じることもある	○. ○%	○. ○%
		26 ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある	○. ○%	○. ○%
	他者との協働	104 わたしは、友だちの心をきずつけることを言ったり、からかったりしていない。	○. ○%	○. ○%
学力と関係が深い質問			○. ○%	○. ○%
			○. ○%	○. ○%
			○. ○%	○. ○%
領域名		学力調査の分析 ○成果 ▲課題		
国語	言葉・情報・言語文化	○全国平均正答率を○. ○ポイント上回り、( ) 設問に成果がある。 ▲全国平均正答率を○. ○ポイント下回り、( ) 設問に課題がある。		
	話すこと・聞くこと	○全国平均正答率を○. ○ポイント上回り、( ) 設問に成果がある。 ▲全国平均正答率を○. ○ポイント下回り、( ) 設問に課題がある。		
	書くこと	○全国平均正答率を○. ○ポイント上回り、( ) 設問に成果がある。 ▲全国平均正答率を○. ○ポイント下回り、( ) 設問に課題がある。		
	読むこと	○全国平均正答率を○. ○ポイント上回り、( ) 設問に成果がある。 ▲全国平均正答率を○. ○ポイント下回り、( ) 設問に課題がある。		
算数	数と計算	○全国平均正答率を○. ○ポイント上回り、( ) 設問に成果がある。 ▲全国平均正答率を○. ○ポイント下回り、( ) 設問に課題がある。		
	図形	○全国平均正答率を○. ○ポイント上回り、( ) 設問に成果がある。 ▲全国平均正答率を○. ○ポイント下回り、( ) 設問に課題がある。		
	変化と関係	○全国平均正答率を○. ○ポイント上回り、( ) 設問に成果がある。 ▲全国平均正答率を○. ○ポイント下回り、( ) 設問に課題がある。		
	データの活用	○全国平均正答率を○. ○ポイント上回り、( ) 設問に成果がある。 ▲全国平均正答率を○. ○ポイント下回り、( ) 設問に課題がある。		
2 児童の実態		3 児童の実態を踏まえた授業改善の取組		
<p>国語に関しては、ひらがなの習得は概ね問題ない。読む（音読）ことも概ねできている。短文で書き表すことが難しい児童が7名程度いる。促音や拗音の適切な使い方には課題がある。</p> <p>算数に関しては、基本的な加法・減法は、正しく解くことができる。文章題になると正しく立式できなかつたり、単位を書けなかつたりすることがある。</p>		<p>&lt;国語&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話型や文型を示しながら徐々に短文を書くことに慣らしていく。</li> <li>・日頃の作成物やノートを丁寧に確認することで、促音・拗音を適切に使えるように支援していく。</li> <li>・朝学習の時間や宿題に児童が苦手とする課題を出し、反復練習を図る。</li> <li>・授業の導入では、前時の振り返りを欠かさずに行う。</li> </ul> <p>&lt;算数&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返しドリルの活用を図る。</li> <li>・文中における重要な語句を囲む取組を行わせる。</li> </ul>		
4 ミライシードとの連携機能を活用した取組				
個別ドリルの実施状況		令和5年8月末時点で完了している児童	% ( 人 / 人中)	
確認テストの実施状況		令和5年8月末時点で完了している児童	% ( 人 / 人中)	